


平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章		<b>都立中野特別支援学校</b>		知的障害	基	通学区域	中野区、新宿区(小・中学部全域、高等部一部)、渋谷区(一部)、杉並区(高等部のみ一部)	
		児童・生徒一人一人を確かに育てる学校					進路実績	企業就労14(事務補助5、小売販売3、飲食厨房3、物流1、サービス2) 就労移行支援4、継続支援A型1、継続支援B型11、自立訓練4、生活介護15、その他3
基	所在地	〒164-0014 中野区南台三丁目46番20号	電話番号	03-3384-7741	本	教育課程の特徴	①	小・中学部:児童・生徒の実態に即し、知的障害、自閉症、重度・重複障害に分けた教育課程の編成・実施
	アクセス	(1) 地下鉄丸の内線 方南町駅下車 徒歩7分 (2) JR新宿駅下車 京王バス永福町行(約15分)栄橋下車 (3) 京王井の頭線永福町駅下車 京王バス新宿駅西口行(約10分)栄橋下車					②	高等部:生徒の実態に即し、普通学級を2類型に分けた教育課程の編成・実施(2、3年生)
本	設置学部	小学部、中学部、高等部			情	副籍実施状況	③	専門家と連携したアセスメントの実施及びアセスメントを活用した指導
	幼児・児童生徒数	284名(小学部 87名、中学部 45名、高等部 152名)					④	地域と連携した作業学習等の実施
報	学級数	55学級(小学部 20学級、中学部10学級、高等部 25学級)			報	学校評価	⑤	就労支援アドバイザーを活用した授業改善
	スクールバス	7台(中型5台、小型2台)					学校評価	生徒評価では80%以上が学校を楽しいと回答。アンケート回収率96.7%。保護者の86.7%が本校の教育に満足していると回答。全ての評価項目で肯定的評価数が増加した。評価委員会では、児童・生徒がわかる授業づくりを目指すことが必要との指摘を受けた。
その他	平成28年度都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業指定校 平成28年度・29年度障害のある児童・生徒への安全対策の推進指定校					ホームページ	<a href="http://www.nakano-sh.metro.tokyo.jp">http://www.nakano-sh.metro.tokyo.jp</a>	

目指す学校 「安全・安心」を基盤に、「分かる」ことや「できる」ことを確かな力として広げ、生きる力を育てて一人一人の自立と社会参加を実現する

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>専門性に基づく授業の充実</b> ・ICT機器を活用した授業づくりを推進し、児童・生徒の理解を促進する授業を行う。 ・研究・研修・OJTを通じ、教員の専門性の向上・指導力向上を図る。 ・アセスメントにより、児童・生徒の特性を把握し、授業改善を図る。	・各学部ごとにICT機器を活用した授業実践に取り組んだ成果について2月16日に全国公開授業研究協議会を実施し、全国から95名の参加があった。「ICT機器を活用した授業づくり」というテーマで講演を実施して参加者に好評を得た。 ・外部専門家による授業アセスメント、ケースカンファレンスを211回実施し、授業改善を行った。 ・教員の専門性向上に向けて、「ICT機器を活用した授業づくり」という全校の研究に加え、夏季専門性向上研修や人権研修、エビペン研修、接遇研修、企業見学を実施した。	
目標②	<b>進路指導・職業教育・キャリア教育の充実</b> ・就労支援アドバイザーを活用し、自立と社会参加につながる進路指導の充実を図る。 ・小学部段階からの一貫したキャリア教育を推進する。 ・地域との連携を図った職業教育を推進する。	・就労支援アドバイザーによる巡回指導及び授業を実施し、就労に向けた指導や支援の充実を図った。 ・企業就労の生徒13名、24%(事務補助3、小売販売2、飲食厨房4、物流1、サービス3)。 ・地域の商店等と連携し、高等部2・3年Ⅲ類型の生徒による地域業務体験を実施。近隣の小学校と連携し、清掃業務の体験を7回実施。 ・高等部Ⅲ類型の生徒が小学部の児童・生徒に清掃の仕方についての指導を実施した。	
目標③	<b>特別支援教育のセンター的機能の発揮</b> ・地域の小・中・高等学校等への相談・研修・研究・授業支援の充実・拡大を図る。 ・幼児教室・子育て支援事業を充実させ、就学移行支援を推進する。 ・関係区と共催による特別支援教育専門性向上研修会を2日間4講座実施する。	・地域の小・中・高等学校等への研修支援及び事例相談を22回実施した。 ・心理相談室における認知検査後の保護者、担任への結果通知の実施した。 ・就学前の幼児・保護者を対象とした幼児教室を開催し、就学への見通しと安心感を築く機会を設定した。 ・学校相談日と心理相談を51回実施した。関係機関と連携した支援会議を33回実施した。 ・地域の教員等向け専門性向上研修会2日間4講座延べ724名、放課後等デイサービス、移動支援事業所等を対象の研修会を実施した。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	26年度		27年度		28年度		今年度		30年度	31年度	32年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	高等部生徒による学校評価:「学校が楽しい」%/回収率%	85/80	84/84	90/85	90/85	90/85	94/76	90/85	82/83	95/85	95/85	95/85
目標②	一般就労率(都立特別支援学校普通科平均:30~35%)	35%	37%	35%	33%	35%	27%	35%	24%	35%	35%	35%
目標③	副籍の実施率	35%	38%	40%	57%	40%	60%	60%	61%	65%	65%	65%

# 中野特別支援学校の教育活動

## 教室環境の工夫

着替えコーナー



ワークステム

## 教材教具等の工夫

予定表



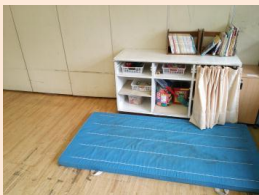
迷路のパズル

マトリックス



靴ひも結び

朝の会コーナー



プレイコーナー



高等部標準服

・学習環境の整備・・・「構造化」  
・児童・生徒が自ら分かって動け、見通しをもって活動に参加できるようにします。

## 小学部の教室環境・教材



総合的な学習の時間では、日本の伝統文化である『茶道』・『空手』に取り組んでいます。

## 中学部の授業の様子



高等部の作業学習では、以下のことをねらいに取り組んでいます。  
①働くことへの意欲をもち、職業生活に必要な力を身に付ける。  
②仕事をする上で必要な態度やコミュニケーション能力を養う。

## 高等部作業学習での生産品

